平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　藤倉化成株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4620　URL　http://www.fkkasei.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 鷲野　襄治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 下田　善三　TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,888	△5.8	1,137	△40.8	1,120	△37.2	503	△46.7
23年3月期第2四半期	27,491	22.8	1,919	324.3	1,783	311.9	943	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　428百万円　(△43.7%)　23年3月期第2四半期　760百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	15.38	―
23年3月期第2四半期	28.86	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,531	23,922	52.7
23年3月期	41,331	23,810	53.9

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　22,412百万円　23年3月期　22,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	7.00	―	7.00	14.00
24年3月期	―	7.00			
24年3月期(予想)			―	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,900	2.4	3,000	△17.4	2,900	△17.0	1,500	△22.4	45.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	32,716,878 株	23年3月期	32,716,878 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	38,168 株	23年3月期	38,168 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	32,678,710 株	23年3月期2Q	32,678,862 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により、企業の生産活動は大幅に低下いたしましたが、サプライチェーンの早期復旧を受け、徐々に持ち直しました。一方、原発事故に端を発する今冬の電力供給不足への懸念や、欧州における財政危機は海外経済の下振れリスクを高め、歴史的な円高に向かうなど、企業の経営環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンの復旧が進み、国内の自動車生産台数は持ち直しつつあるものの、国内の新車登録台数、自動車輸出台数とも前年同期と比べ下回りました。住宅産業につきましては、首都圏における分譲マンションの需要が好調に推移したことなどもあり、新築住宅着工件数は前年同期を上回りました。エレクトロニクス産業につきましては、スマートフォン・タブレット端末や、その関連分野における需要が高水準で推移したものの、半導体分野、薄型テレビなどのデジタル家電関連分野において、極端な円高の下、世界的な競争があり、非常に厳しい市場環境となりました。

このような環境の下、当第２四半期連結累計期間の売上高は258億88百万円（前年同期比5.8％減）となり、営業利益は11億37百万円（同40.8％減）、経常利益は11億20百万円（同37.2％減）、四半期純利益は５億３百万円（同46.7％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）につきましては、欧州におけるプラスチック用コーティング材の製造販売拠点である、英国の子会社Fujichem Sonneborn Ltd（フジケム ソネボーン社）が新たに連結対象子会社となったことや、海外での携帯電話市場におけるスマートフォン向け製品が好調に推移したことなどにより、売上高は増加いたしました。しかしながら、国内自動車分野おいては、東日本大震災の影響を受け、自動車の生産台数が減少し、収益に大きく影響いたしました。

この結果、売上高は84億62百万円（同11.7％増）となり、営業利益は２億43百万円（同61.5％減）となりました。

② 建築用塗料

建築用コーティング材につきましては、リフォーム向け市場では、東日本大震災の影響により前年同期を下回りましたが、新築向け市場では施工棟数の増加などもあり、需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は55億98百万円（同11.9％増）となり、営業利益は４億２百万円（同1.7％増）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）の電子材料部門におきましては、主要な原材料である銀の建値の高止まりや、海外での価格競争の激化から需要が減退し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は32億40百万円（同9.8％減）となり、営業利益は３億21百万円（同38.2％減）となりました。

④ 機能材料

樹脂ベースなどの機能材料部門におきましては、メディカル分野は低調だったものの、主力の粘着材ベース製品の需要が底堅く推移し、売上高は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

この結果、売上高は９億66百万円（同0.3％増）となり、営業利益は46百万円（同58.7％減）となりました。

⑤ 化成品

トナー用樹脂などの化成品部門におきましては、主要ユーザー向けのＯＡ機器用トナー関連の電荷制御剤が好調に推移しました。特に、カラートナー用途の新製品投入が売上高増加に寄与いたしました。

この結果、売上高は11億88百万円（同12.9％増）となり、営業利益は１億15百万円（同41.4％増）となりました。

⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、主力製品である新興国向けの薄型テレビ用途製品での価格下落や、円相場の高止まりの影響を受け、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は65億21百万円（同30.6％減）となり、営業利益は10百万円（同94.3％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産・負債・純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ12億円（前連結会計年度末比2.9%）増加し、425億31百万円となりました。

①　流動資産

当第２四半期連結会計期間の売上増加に伴う売上債権の増加に加えFujichem Sonneborn Ltd及び香港藤光有限公司の新規連結により、たな卸資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ４億55百万円（同1.8%）増加し、258億29百万円となりました。

②　固定資産

Fujichem Sonneborn Ltd及び香港藤光有限公司の新規連結により、有形固定資産が６億98百万円、全体で９億１百万円増加などの結果、前連結会計年度末と比べ７億45百万円（同4.7%）増加し、167億３百万円となりました。

③　流動負債

短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ８億92百万円（同7.0%）増加し、137億13百万円となりました。

④　固定負債

退職給付引当金の計上などにより、前連結会計年度末と比べ１億96百万円（同4.2%）増加し、48億97百万円となりました。

⑤　純資産

利益剰余金が増加したことにより前連結会計年度末と比べ１億12百万円（同0.5%）増加し、239億22百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の53.9%から52.7%へと1.2ポイント減少となり、１株当たり純資産額は前連結会計年度末より４円72銭増加し、685円83銭となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億35百万円減少し、58億円70百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①　営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が11億円であったものの法人税等の支払が８億27百万円であったこと及びたな卸資産が増加したことなどにより、６億61百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は11億18百万円の収入）となりました。

②　投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出８億30百万円、関係会社出資金の払込による支出２億13百万円などにより、13億17百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は２億10百万円の支出）となりました。

③　財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加により８億２百万円の収入があったものの、社債の償還により４億23百万円の支出、配当金により２億29百万円の支出などがあったため、49百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は６億89百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の通期の連結業績予想は、平成23年５月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,536,786	6,702,040
受取手形及び売掛金	10,847,562	12,108,153
商品及び製品	3,082,613	4,099,128
仕掛品	49,672	56,992
原材料及び貯蔵品	1,680,983	1,732,402
繰延税金資産	633,197	615,819
その他	615,063	663,324
貸倒引当金	△72,530	△149,071
流動資産合計	25,373,346	25,828,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,287,332	7,594,712
減価償却累計額	△3,772,652	△3,917,669
建物及び構築物（純額）	3,514,680	3,677,043
機械装置及び運搬具	9,310,774	10,366,712
減価償却累計額	△6,631,247	△7,675,758
機械装置及び運搬具（純額）	2,679,527	2,690,954
工具、器具及び備品	2,886,719	3,269,456
減価償却累計額	△2,425,809	△2,774,733
工具、器具及び備品（純額）	460,910	494,723
土地	3,902,048	4,180,632
リース資産	265,721	308,627
減価償却累計額	△89,143	△134,748
リース資産（純額）	176,578	173,879
建設仮勘定	110,874	528,298
有形固定資産合計	10,844,617	11,745,529
無形固定資産		
のれん	－	294,825
ソフトウエア	69,830	176,000
その他	904,443	897,137
無形固定資産合計	974,273	1,367,962
投資その他の資産		
投資有価証券	1,971,762	1,169,774
長期貸付金	115,384	68,117
繰延税金資産	686,195	758,126
その他	1,409,880	1,637,891
貸倒引当金	△44,079	△44,754
投資その他の資産合計	4,139,142	3,589,154
固定資産合計	15,958,032	16,702,645
資産合計	41,331,378	42,531,432

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,892,137	6,839,132
短期借入金	2,049,548	3,064,987
1年内償還予定の社債	845,000	845,000
未払法人税等	736,421	458,758
未払費用	548,584	676,615
賞与引当金	550,546	543,628
リース債務	63,931	66,699
その他	1,134,737	1,217,898
流動負債合計	12,820,904	13,712,717
固定負債		
社債	1,565,000	1,142,500
繰延税金負債	220,222	314,725
退職給付引当金	2,125,840	2,582,009
長期未払金	483,857	464,922
リース債務	124,327	130,923
その他	181,287	261,709
固定負債合計	4,700,533	4,896,788
負債合計	17,521,437	18,609,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	12,244,967	12,511,568
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	22,612,318	22,878,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,082	△17,191
為替換算調整勘定	△427,474	△449,720
その他の包括利益累計額合計	△354,392	△466,911
少数株主持分	1,552,015	1,509,919
純資産合計	23,809,941	23,921,927
負債純資産合計	41,331,378	42,531,432

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	27,491,028	25,887,878
売上原価	20,124,080	18,836,928
売上総利益	7,366,948	7,050,950
販売費及び一般管理費	5,447,921	5,914,109
営業利益	1,919,027	1,136,841
営業外収益		
受取利息	4,584	2,794
受取配当金	21,841	25,309
固定資産賃貸料	35,975	33,041
その他	34,395	35,590
営業外収益合計	96,795	96,734
営業外費用		
支払利息	54,310	50,454
為替差損	139,548	35,604
固定資産税	6,589	5,580
減価償却費	1,253	1,268
その他	30,711	20,279
営業外費用合計	232,411	113,185
経常利益	1,783,411	1,120,390
特別利益		
貸倒引当金戻入額	22,938	－
特別利益合計	22,938	－
特別損失		
投資有価証券評価損	59,362	－
災害による損失	－	20,403
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51,740	－
特別損失合計	111,102	20,403
税金等調整前四半期純利益	1,695,247	1,099,987
法人税、住民税及び事業税	666,822	552,265
法人税等調整額	△29,955	6,623
法人税等合計	636,867	558,888
少数株主損益調整前四半期純利益	1,058,380	541,099
少数株主利益	115,349	38,473
四半期純利益	943,031	502,626

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,058,380	541,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△159,591	△91,828
為替換算調整勘定	△138,664	△21,144
その他の包括利益合計	△298,255	△112,972
四半期包括利益	760,125	428,127
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	664,774	390,107
少数株主に係る四半期包括利益	95,351	38,020

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,695,247	1,099,987
減価償却費	603,518	674,360
のれん償却額	－	100,495
退職給付引当金の増減額（△は減少）	86,387	104,265
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,176	△6,895
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△18,769	5,332
受取利息及び受取配当金	△26,425	△28,103
支払利息	54,310	50,454
為替差損益（△は益）	4,692	16,835
投資有価証券評価損益（△は益）	59,362	1,584
有形固定資産除却損	1,346	390
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	51,740	－
売上債権の増減額（△は増加）	△738,875	△764,022
たな卸資産の増減額（△は増加）	△336,554	△659,831
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△209,207	△133,094
敷金及び保証金の増減額（△は増加）	△13,693	49,165
仕入債務の増減額（△は減少）	597,001	△395,435
未払費用の増減額（△は減少）	61,655	68,534
長期未払金の増減額（△は減少）	△64,310	△18,935
その他の流動負債の増減額（△は減少）	124,239	10,940
未払消費税等の増減額（△は減少）	30,194	△14,189
その他	15,144	27,903
小計	1,982,178	189,740
利息及び配当金の受取額	27,548	28,103
利息の支払額	△57,961	△52,195
法人税等の支払額	△833,761	△826,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,118,004	△661,166
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△406,106	△601,227
定期預金の払戻による収入	400,904	401,128
無形固定資産の取得による支出	△3,834	△82,601
有形固定資産の取得による支出	△229,665	△830,309
投資有価証券の取得による支出	△3,079	△23,229
関係会社出資金の払込による支出	－	△212,925
保険積立金の積立による支出	△26,635	△23,581
保険積立金の払戻による収入	46,534	3,384
貸付けによる支出	△2,890	△2,968
貸付金の回収による収入	22,979	53,464
その他の支出	△24,902	△3,583

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
その他の収入	16,285	5,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,409	△1,317,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	108,491	801,854
長期借入金の返済による支出	△101,400	△101,400
社債の償還による支出	△360,000	△422,500
リース債務の返済による支出	△21,714	△37,579
自己株式の取得による支出	△61	－
配当金の支払額	△228,753	△228,751
少数株主への配当金の支払額	△85,989	△60,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△689,426	△48,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21,019	△17,134
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	197,150	△2,044,237
現金及び現金同等物の期首残高	7,767,955	7,904,927
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	16,416	9,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,981,521	5,870,082

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	7,567,732	5,002,265	3,586,191	962,869	1,052,272	9,319,699	27,491,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,560	－	4,103	214	－	71,186	83,063
計	7,575,292	5,002,265	3,590,294	963,083	1,052,272	9,390,885	27,574,091
セグメント利益	630,282	395,199	519,589	110,921	81,265	181,783	1,919,039

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,919,039
セグメント間取引消去	△12
四半期連結損益計算書の営業利益	1,919,027

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	コーティング	建築用塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	8,461,795	5,597,607	3,225,469	966,138	1,187,639	6,449,230	25,887,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	14,509	65	－	71,990	86,564
計	8,461,795	5,597,607	3,239,978	966,203	1,187,639	6,521,220	25,974,442
セグメント利益	242,694	402,045	320,878	45,821	114,918	10,410	1,136,766

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,136,766
セグメント間取引消去	75
四半期連結損益計算書の営業利益	1,136,841

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。